

敬語の体系（文化審議会答申「敬語の指針」から）

尊敬語	相手側又は第三者の行為・ものごと・状態などについて、その人物を立てて述べるもの
謙讓語 I	自分側から相手側又は第三者に向かう行為・ものごとなどについて、その向かう先の人物を立てて述べるもの
謙讓語 II (丁重語)	自分側の行為・ものごとなどを、話や文章の相手に対して丁重に述べるもの
丁寧語	話や文章の相手に対して丁寧に述べるもの
美化語	ものごとを、美化して述べるもの

(1) 尊敬語

【動詞の尊敬語・特定形】

- ・ いらっしゃる（←行く・来る・いる）
- ・ おっしゃる（←言う）
- ・ なさる（←する）
- ・ 召し上がる（←食べる・飲む）
- ・ 下さる（←くれる）
- ・ 見える（←来る）

【動詞の尊敬語・一般形】

- ・ お(ご)……になる
- ・ ……(ら)れる（例：読む→読まれる，利用する→利用される，始める→始められる，来る→来られる）
- ・ ……なさる（例：利用する→利用なさる）
- ・ ご……なさる（例：利用する→御利用なさる）
- ・ お(ご)……だ（例：読む→お読みだ，利用する→御利用だ）
- ・ お(ご)……くださる（例：読む→お読みくださる，指導する→御指導くださる）

(2) 謙讓語 I

【動詞の謙讓語 I・特定形】

- ・ 伺う（←訪ねる・尋ねる・聞く）
- ・ 申し上げる（←言う）
- ・ 存じ上げる（←知る）

(注) 「存じ上げる」は、「存じ上げている（います，おります）」の形で、「知っている」の謙讓語 I として使う。ただし，否定の場合は、「存じ上げていない（いま

せん、おりません)」とともに、「存じ上げない」「存じ上げません」も使われる。

- ・ 差し上げる (←上げる)
- ・ 頂く (←もらう)
- ・ お目に掛かる (←会う)
- ・ お目に掛ける, 御覧に入れる (←見せる)
- ・ 拝見する (←見る)
- ・ 拝借する (←借りる)

【動詞の謙譲語Ⅰ・一般形】

- ・ お(ご)……する
- ・ お(ご)……申し上げる
- ・ ……ていただく (例: 読む→読んでいただく, 指導する→指導していただく)
- ・ お(ご)……いただく (例: 読む→お読みいただく, 指導する→御指導いただく)

(3) 謙譲語Ⅱ (丁重語)

【動詞の謙譲語Ⅱ・特定形】

- ・ 参る (←行く・来る)
- ・ 申す (←言う)
- ・ いたす (←する)
- ・ おる (←いる)
- ・ 存じる (←知る・思う)

(注) 「知る」意味の「存じる」は、「存じています (おります)」の形で、「知っている」の謙譲語Ⅱとして使う。ただし、否定の場合は、「存じていません (おりません)」とともに、「存じません」も使われる。

【動詞の謙譲語Ⅱ・一般形】

- ・ ……いたす (例, 利用する→利用いたす)

(4) 丁寧語

です、ます、形容詞+ございます

(5) 美化語

お酒、お料理、御祝儀、・・・